

名古屋交通計画 2030 成果目標（令和 5 年度）

展開	指標	成果目標			
		当初値	現状値	数値目標	
				2025 年度	2030 年度
展開 1 リニア中央新幹線の開業に向けた広域交通環境の形成	名古屋市内へ公共交通等を利用して来訪する人の割合	67.4% (2021 年度)	62.5% (2023 年度)	70%	73%
	名古屋駅の乗客数 ^{※1}	41 万人 (2020 年度)	54 万人 (2022 年度)	67 万人 (2024 年度)	70 万人 (2029 年度)
展開 2 持続可能な公共交通ネットワークの形成	公共交通を便利で利用しやすいと思う人の割合	81.6% (2021 年度)	84.9% (2023 年度)	84%→ 85% ^①	85%→ 87% ^①
	市内の鉄軌道及び市バス 1 日当たりの乗車人員合計 ^{※2}	188 万人 (2020 年度)	226 万人 (2022 年度)	259 万人→ 243 万人 ^① (2024 年度)	258 万人→ 251 万人 ^① (2029 年度)
展開 3 まちづくりと連携した多様な道路空間の形成	歩行者と自転車のそれぞれが、安全で快適に通行していると感じている市民の割合	39.7% (2021 年度)	37.8% (2023 年度)	40.7%	50%
	都心部の歩行者交通量 ^{※3}	41,000 人 (2020 年度)	46,000 人 (2023 年度)	54,000 人	56,000 人
展開 4 地域のニーズに応じた移動環境の形成	地域の住民によるまちづくりが活発に行われていると思う市民の割合	31.7% (2021 年度)	34.7% (2023 年度)	46%	60%
	交通をテーマに地域主体のまちづくりを推進した地区数	2 件 (2021 年度)	4 件 (2023 年度)	累計 5 件以上	累計 10 件以上

※1、2、3 新型コロナウイルス感染症拡大以前のデータから数値目標を設定しています。

(※1 64 万人 (2017 年度)、※2 262 万人 (2019 年度)、※3 50,000 人 (2019 年度))

- ① 名古屋総合計画 2028（令和 6 年 10 月策定）において「公共交通を便利で利用しやすいと思う人の割合 86%（令和 10（2028）年度）」、「市内の鉄軌道及び市バス 1 日当たりの乗車人員合計 249 万人（令和 9（2027）年度）」と成果指標を設定したことから、数値目標の見直しを実施